

かいらく LIFE



あー、めんこかったぞー!!

ばーちゃんとうだった!!

みんなで合奏しました!!

一生懸命に劇を披露してくれました

2月15日、小羊園のお孫ちゃん達との交流会がおこなわれました。今回は劇の鑑賞や合奏、一緒に踊ったりと内容も盛り沢山でした。4月から複数回にわたっておこなわれてきたこの交流会も、今年度はこれが最後となります。普段はあまり笑わないような寡黙な利用者の方も、交流会の時だけは別人のように笑っています。子どものパワーは偉大です(*´ω`*)

いつもたくさんの笑顔を貰える交流会を偕楽園利用者及び職員一同楽しみに待っております。小羊園の皆さん、来年度もよろしくお願いしますネ(*▽*)ノ



黒澤 優
生活支援ワーカー

退職職員紹介

長い間お疲れ様でした!!

出会いがあれば別れあり、黒澤優さんが12月一杯で退職されました。偕楽園としてはとても苦しいですが、更なるご発展をお祈りしております。



橋本 不二子さん
趣味：カラオケ、大人のぬり絵、ウィンドウ・ショッピング



阿部 礼子さん
趣味：部屋の掃除、愛犬と散歩、アイスを食べながら入浴



新任職員紹介

偕楽園へようこそ!!

偕楽園では12月から職員の入替わりがありました。12月24日に阿部礼子さんが入職され、2月1日には橋本不二子さんが入職されています。人手不足になりがちな福祉の現場としては、心強いことこの上ないですね。お二人には1日も早く偕楽園に慣れ、利用者の皆さんとふれあって頂ければと思います。

編集後記

寒暖の差が厳しい季節になってきましたね。春の気配が近づいてきたと思うと、突然真冬みたいな降雪があったりと、「一歩進んで二歩下がる」的な、どっちつかずな状態です。体調を崩さないようにご注意ください。私は崩しましたが(笑)さて、今年度最後のかいらくライフとなります。ご笑覧いただければ幸いです。

ご意見、ご感想はこちらまで!!

～今後の行事～



3月 春彼岸供養会



4月 お花見会



5月 日帰り旅行

なごみなの里地域福祉サービスセンター 養護老人ホーム 偕楽園

〒981-3623 黒川郡大和町小野字前沢31-1

TEL: 022-346-2221 Eメール: p-kairaku@gamma.ocn.ne.jp

FAX: 022-346-2222 URL: http://www.miyagi-sfk.net/nago

いざという時のために!!

AED研修



「1, 2, 3, 4, 5・・・」



ナビに従いパッドを取り付けています

AEDとは日本語で言い表すと、「自動体外式除細動器」といいます。電極のついたパッドを裸の胸の上に貼ると自動的に心臓の状態を判断し、もし心臓が細かくふるえて血液を全身に送ることができないようであれば（心室細動）、電気ショックを与えて心臓を正常に戻す機能を持っています。

今回は、このAEDの使用を軸とした研修を、偕楽園と和風園合同でおこないました。黒川消防本部より講師を招き、様々なメーカーのAEDの操作を学びました。基本的には、スイッチを入れればナビゲーションしてくれるので、操作自体は難しくありません。AED使用の間は心臓マッサージが心肺蘇生法の肝だと教わり、額に汗を浮かべながら取り組んでおりました。有事の際に役立つ事が出来ればとは思いますが、必要な状況が起きない事が望ましいですね。



めくみのおすすめレシピ(その11)

さくらもち



見た目からも春を感じるさくらもち。偕楽園では、ほんのり甘い皮とあんこの甘さがちょうどいいと利用者さんから好評です。ふわふわ、もちもちのさくらもち作ってみませんか？

材料(5個分)

作り方



1. 白玉粉に水を少しずつ加えて溶かす。砂糖、薄力粉を混ぜる。

2. 桜の葉は水に漬けておく。あんは俵型に丸める。

3. 食紅を少量の水で溶かし、生地に混ぜる。

4. 塩抜きした桜の葉の水気をふく。

5. ホットプレートで160度にセットし、油をしき小判型に両面焼く。

6. 生地が冷めたらあんを包み（生地の焼き目は内側にする）と見栄えが良いです。桜の葉で巻く。



白玉粉	15g
水	90cc
薄力粉	35g
砂糖	15g
食紅	少々
こしあん	100g
桜の葉	5枚
サラダ油	適量

あの日あのこと

としえさんの場合



私は昭和25年、登米郡〇〇町（現在の登米市）で養鶏場を営む家庭の6人兄弟の末っ子として生まれました。所有していたのは100羽程度の鶏でしたが、小さい頃は学校から帰ると遊ぶ暇もなく家業の手伝いとして鶏卵を集めていました。当時は卵が高級品で、よその家ではなかなか食べることが出来ませんでした。そんな卵を、うちではお母さんが卵焼きにしてくれるので、それがとても楽しかったのと、今でも一番印象に残っている、いわば「おふくろの味」というものなのでしょう。

中学を卒業するとすぐに上京し働きしました。バターココナッツの製作用場で約1年働きましたが、人の勧めもありホステスとして働くことになりました。水商売と言われ少し心配もありましたが、大変働き甲斐があり、そんな仕事をしていた自分を今でも誇りに思っています。当時お客さんとして来店していた男性と結婚に至り、仕事を辞めて栃木県宇都宮市近郊に移り住みました。2人の子宝に恵まれましたが、その方とは4年程で離婚してしまいました。その後、別の男性と知り合い2度目の結婚をしました。その方とは、一度離婚するものの、離れてみて初めてその方の良さがわかった事などもあり、やりなおす事に決め、また一緒に暮らすことになりました。波乱万丈と言つのでしょつか、良い思い出たくさんありますが、大変苦労もしてきました。

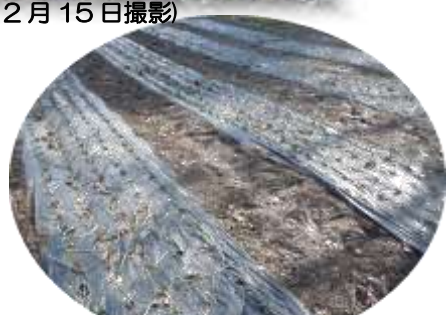


偕楽園の畑

暖冬と思いきや、急に寒さと大雪になり、偕楽園の畑もしばらくの間一面雪に覆われました。最近になって雪も解けだし、冬越し野菜の玉ねぎ、かき菜、絹さやの苗が順調に成長しているのが確認され、苗達も春の訪れを待っているようです。



寒冷紗の中で育った絹さや



雪の下で頑張った玉ねぎ

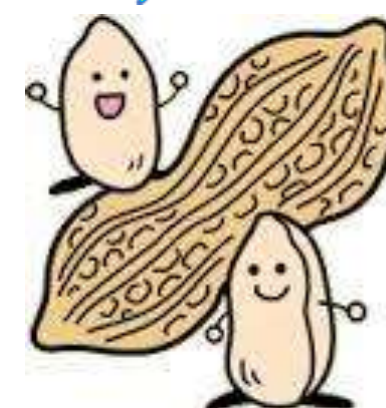


収穫が楽しみなかき菜

農作物の生育状況(平成28年2月15日撮影)

節分

～落花生で厄除けを～



節分とは、季節の変わり目を意味します。昔は、『せち分かれ』と言って立春、立夏、立秋、立冬の、季節の始まりの日の前日を節分と言いました。しかし、現在では、冬から春になる立春の前日の、2月3日だけが節分として残りました。また、立春は1年の始まりと考えられていて、立春の一日前の節分は大晦日にあたります。悪いものを追い出して、素晴らしい春を迎える為に、春の節分だけが行事として残ったと言われています。

ちなみになんですが、利用者の方々は歳の数だけ豆は食べていません笑



今年も現れました！偕楽園の鬼ブラザーズ！！



あ、赤鬼さん・・・お腹が凄い事に(・o・;))



(今年の鬼はあんまおっかなくねーなー)



あさひのり1015年
れんげのり1015年

忘年会



「煮物美味しいわよ～特にこの椎茸なんてもう最高♥」

忘年会というのは日本独特の行事です。その起源は、鎌倉時代にまでさかのぼる事が出来ます。と言っても現在のドンチャン騒ぎとはまったく逆で、優雅に、そして厳かに「連歌」(和歌などをつなげて詠うもの)を詠う「年忘れ」という行事でした。さて、偕楽園でも恒例行事として、十二月に忘年会を執り行っております。こちらは、優雅や厳かではありませんが(笑)、いつもより少し豪華な昼食と、ボランティアの皆さんの催し物の鑑賞があったり、お酒こそありませんでしたが、楽しく一日を過ごせました。一年間、色々な場所に出掛けたり、様々な行事で美味しいものを食べたりと、充実していた二〇一五年の締めくくりとして良い会になりました。



今年の忘年会のお膳です。彩が豊かで見ていてだけで涎が・・・(*^q^*)



出汁がきいててうめえな～～！！



ボランティアの皆様、ご多忙の中の出演ありがとうございました m(_)_m

来ないでくださいっ!!



A HAPPY NEW YEAR 借樂園のお正月

豆
知
識



ねえ、
知ってる?

古来日本には「年籠り」といふもの、といふもの（という風習がありました。家長（一家の長）が、新年を平安に暮らすために大晦日の夜から元旦の朝にかけて、氏神の社に籠もり祈願したのです。（※氏神の社は、現在という神社にあたります。）その後、年籠りは神社鈴大晦日の夜に詣でる「除夜詣」と元旦の朝に詣でる「元旦詣」に分かれます。この「元旦詣」が現在の初詣の原形となりました。江戸時代末期までの元旦詣は、その年の恵方にある神社に参拝し、幸福を祈願する。というものでした。俗に「恵方詣り」（恵方参り）とも言われています。恵方には、その年の「歳徳神」（としとくしん）がいてたたり神が来ない、いい方向とされていました。明治時代に入ると、恵方参りの風習は廃れていき有名神社などの、好きな所にお参りに行くようになります。これが、現在の初詣のスタイルになっているというわけです。恵方参りが廃れたのは、鉄道の発達により、有名神社仏閣に足を運びやすくなった。という事が、1つの要因ともいわれています。



泉区に加茂神社に初詣に出かけました！



絶賛お参り中。健康祈願かな？



今年の餅花作成は、お餅が柔らかくて枝に張り付けられず、枝から垂れてくる事が多かったです(;・∀・)



新年会の食事の様子です。年に1回お餅が食べられる日です。皆さんの嬉しそうな表情を多く見ることが出来ました。もちろん職員は何か起きてもいいようにそばで待機しています。



二〇一六年を迎えましたね。今年はオリンピックイヤーでもあり、サッカーをはじめとした各種競技の応援に皆さんも大忙しとなることでしょう。そんな今年の年初め、皆さん美味しく、高齡者の方々へのお餅の提供はリスクも高く、「どうすれば安全に提供できるか。それとも提供しない方がいいのか。」について、生活支援課職員と栄養士、看護師とで話し合い、万全の態勢を整えて、なんとか提供まで漕ぎ着けたという裏話も実はあったりします。その甲斐あって、利用者の皆さんは大喜びでした!!



帰る前には記念に1枚。ハイチーズ!!